

2025年度
入学試験問題

国語

2月1日 午前

| | |
|------|----|
| 受験番号 | 氏名 |
| | |

中村中学校

問題は次のページからです。

次の(1)～(10)の——線のカタカナを漢字に直して答えなさい。

- (1) 風が強くなり、空モヨウが変わる。
- (2) カンゴ師さんが応急の手当をする。
- (3) スターの人気がカコウする。
- (4) 苦手なことをケイエンする。
- (5) 経済の動きを正しくニンチする。
- (6) 炎天下では水分はすぐにジョウハツする。
- (7) 電化製品がコショウする。
- (8) ゼンは急げ。
- (9) 足のスジをのばす。
- (10) ムズカしい問題に挑戦する。

〔二〕次の文章を読み、後の問い合わせに答えなさい。

(設問の都合上、本文を改変、省略したところがあります。)

*字数指定のある問題については、句読点・記号も字数に数えます。

客観的な幸福感を統計的・主観的に測る研究も進んでいます。ですから、幸せを科学的に分析することもできるし、幸福になるための方法も科学的にわかつていると言えるのです。

「幸福学」というのは現代の知見を結集して、人が幸福に生きるとはどういうことかを科学的に検証する学問です。

しかし、幸福学の話をすると、興味を持つ人もいる一

方で、こんな反応をする人もいます。

(a)、「幸せなんて定義できるものじゃない」とか「それぞれの人の主観的なことだから、学問にはならない」という反応です。

しかし、幸せは「結果」でもありますが、「原因」でもあるということが、幸福学の研究からわかつてきました。どういうことかというと、幸せな心の状態を保つている人は、そうでない人に比べて創造性や生産性が高く、利他的(他人の幸福や利益のために尽くすこと)で、やる気やチャレンジ精神に富み、健康で長寿になる傾向があります。ですから、幸せな心の状態でいれば、それが原

年間に1000篇ほどの研究論文が発表されるほど注目される分野になりました。そのため、新しい※知見もどんどん明らかになっています。後で紹介しますが、各人の

因となつて、また良いことが起きるという好循環が起きるのです。

（d）、幸せは幸せを呼ぶ。「幸せになろう」と努力することによつて、人生がより良い方向へ進んでいき、

さらに幸せになつていくことです。

ところで、先ほど「幸せなんて定義できない」という声を紹介しましたが、確かに幸せは人によつてそれぞれ違います。

たとえば、「十分なお金があること」、「好きな人と一緒にいること」、

にいられるうこと」、「穏やかで何もない毎日が続くこと」、「楽しいイベントがたくさんあること」、「死ぬ瞬間に、ああ、いい人生だつたと思えること」。これらは私が今までいろいろな方に聞いてきた幸せの形です。幸せについては、皆がさまざまな考え方を持つています。

しかし、幸福学では、ある程度、幸せの定義を明確にしています。

たとえば美味しい食事をした時に満足感を覚えたり、ゲームで高い得点を出した時に爽快感を感じたり、スポーツをしている時にワクワクしたり、テストで良い点を取った時には達成感を感じたりしますよね。

そのような感情的に幸せな状態のことを、英語では「ハピネス (happiness)」と表現します。「楽しい」とか「嬉しい」といった意味合いで使われる言葉ですが、こうした感情というのは、それほど長く続くものではありません。

それに対して、もう一つ「ウェルビーイング (well-being)」という言葉があります。「ウェル」は良い、「ビー

イング」は状態という意味ですから、ウェルビーイングとは「良い状態」という意味で、辞書を引くと「幸福、福利、健康」とあります。身体面と精神面が満たされた広い範囲での幸福を示す言葉です。

幸福学が目指すのは、このウエルビーイングの状態で

す。ハピネスは長続きしませんが、ウェルビーイングは長続きする幸せです。

今、皆さん的心の状態は、良い状態でしようか？ イライラしたり、腹が立つたり、くよくよしたりしたら、それはウェルビーイングではない状態です。

一方、ウェルビーイングな状態というのは、気持ちが落ち着いていたり、やる気やチャレンジ精神にあふれています。周りに感謝してしたり、誰かと一緒にいる幸せを感じているような状態です。

もしかしたら、今、悩みやストレスを抱えているという人もいるかもしれませんね。

でも、悩みが一つもないという人はきっと少ないはずです。誰だつてテストの前にはストレスを感じるし、友だちとの関係で悩んだり落ち込んだりする日もありますが、そうした多少の嫌なことがあっても、それらに押しつぶされることなく、落ち着いて向き合っていられる状

態なら、ウェルビーイングな状態と言えます。

すぐに消えてしまうハピネスよりも、長く続くウェルビーイングを目指す。それが幸せのための一歩なのです。

（前野隆司『幸せな大人になれますか』小学館）

※知見……見たり考えたりして知った内容や意見。

問一 (a)～(d)に入る語を次からそれぞれ選び、

記号で答えなさい。

ア、また イ、しかし ウ、まず エ、つまり

問二 —— 線①は、二つの言葉の位置が逆になつてし

まつたため、意味がよく通らなくなつています。

入れかえる二つの言葉を答えなさい。

問四 —— 線②について、

(1) このように言えるのはなぜですか。文中の言葉を

用いて、四十字以内で説明しなさい。

(2) この内容を言いかえた表現を、文中から八字でぬ

き出して答えなさい。

問三 本文のはじめの方には「○○的」と「的」のついた

言葉がたくさん出でますが、次の語の中で、他の

四つと比べて「的」がつくことがあまりないのはど
れですか。一つ選び、記号で答えなさい。

ア、現実 イ、好意 ウ、総合

エ、電動 オ、論理

問五 —— 線③とありますが、幸せの定義を文中の言

葉を用いて次のようにまとめました。

I

II

に入る言葉をそれぞれ指定された字

数でぬき出して答えなさい。

I (十字以内) ではなく II (二十五字以内)。

問六 次のア～エを、「ハピネス」と「ウェルビーアイング」

に分けるとしたらどちらになりますか。「ハピネス」
ならAを、「ウェルビーアイング」ならBを解答らん
に記しなさい。

ア、本を読んで得た知識が今後に生かせそうな気がした。

イ、今年のお年玉の合計金額が予想を大きく上回った。

ウ、気の合つた友人たちとテーマパークで一日中遊んだ。
エ、新しいクラスの居心地がよく、勉強もはかどると感じた。

問七 本文によると幸福学における幸せは「ハピネス」よ

り「ウェルビーアイング」の状態であるということが
述べられていましたが、あなた自身が考える具体的
な「ウェルビーアイング」の状態を一つあげなさい。

そして、そのためにどのようなことに注意して生き
ていこうと思いますか。あなたの言葉で書きなさい。

〔三〕次の文章を読み、後の問い合わせに答えなさい。

(設問の都合上、本文を改変、省略したところがあります。)

*字数指定のある問題については、句読点・記号も字数に数えます。

十四歳の暁は、母親を病で失い、そのため気力を無くし会社をやめた父親と、父親の出身地である郊外の町へ越してきた。

現在は父と二人で暮らしている。バスケットボールに情熱を燃や

バッショウケースを手に提げたまま、川沿いの道をいつきに駆けていく。^①橋の（ ）で欣子とリモと別れた後、薄暮の中をランニングをしながら家に向かつた。リモも家まで走つて帰ると言つていた。試合で使いきつたはずの体力がまた戻つてきている。その源泉がどこにあるのかわから₅ないが、心と体を突き動かす力が湧いてくる。

「ミーティングして、ほんとよかつた」

言いたいことを互いに口にすると、靄が晴れたかのよう

に目標が明確になつた。目標が見えてくるとわけもなく楽しくなつてきて、このまま練習しようか、という話になつた。薰が「 X」^②と言い出

さなければ、まだ学校に残つていただろう。

「いい感じ。どこまでも走れそう」

「チームのみんなが苦しい時に自分を見てくれるような存在になりたい」と決意した。

いまから一試合は軽くできる。リュックの中の水筒がカタカタと揺れるのを背で感じながら、暁はスピードを上げた。夏の花が咲き始めたからか、いつもより景色が鮮

やかに見える。

川沿いの道がやがて終わると、そのままスピードを落とさず農道^Dに飛び出していく。車はほとんど通つていない。ぐんぐんと加速しながら家に近づけば、家の背後に^③ある山が迫つてきた。

「と、う、着つ」

さすがにふくらはぎが張つている。夏の犬のような呼吸をしながら、暁は玄関から家の中に入つていった。

あれ……。

④ 玄関で靴を脱ごうとして、妙な違和感^{みょういわかん}を覚えた。なにが違うのだろう。よく見れば、父のサンダルや暁のローファーの他に、女物の華奢なパンプス^{きやしゃ}が揃えてあつた。

引つ越す時に母の衣類や靴は手放したので、大人の女性の履物^{はきもの}を見るのはずいぶん久しぶりな気がする。

「ただいま……」

※たたき 三和土にスニーカーを揃えて、家の中に向かつて呼び

かける。

「……お父さん？」

居間に続く扉^{とびら}を開けると、満面の笑み^{えう}を浮かべた父が女人と向き合つていた。マスカットのよう^{あわ}な淡いグリーンのスースを着た女人の細い背中が、すぐ目の前にある。

⑤ 一瞬^{いっしゅん}、お母さんかと思つた。そんなことあるわけないのに、お母さんが暁に会いに来てくれたのかと……。

「達夫くん、この子が暁ちゃん？ おかえりなさい」

女人が振り返ると、知らないうちに強張^{こわば}つっていた全身から力が抜けた。お母さんかもしれない、どうしてそんなことを思つたのだろう。そんなこと……あるわけないのに。

「はじめまして。私、白木といいます。お父さまの友人なの」

呆然^{ぼうぜん}と立ち尽くす暁に、白木という人が話しかけてく

る。⑥ 微かに香つてくる化粧品の匂いに胸を衝かれ、でもすぐにお母さんの白い顔を思い出し、目を逸らした。

「あ、ども」

白木がいるだけで馴染み始めた居間が違つた感じに見える。知らない場所に来たみたい。お父さんが「達夫くん」なんて呼ばれているのも初めて聞いた。

「どこ行くんだ」

佩こりと頭を下げた後、自分の部屋に入ろうとした暁に父が話しかけてくる。

「汗でベトベトだからシャワー浴びてくる」

自室に続く襖を開けながら、振り向かずに暁は返した。

「お客様が来てるんだから後にしなさい」「いいのよ達夫くん、気にしないで」「いや、でも……」

「だつて今日、バスケットの試合だつたんでしょう？」

そりやすぐにシャワー浴びたいわよ」

二人の会話を襖越しに聞きながら、簾を開けて着替えを取り出す。話したかつたのに……。お父さんに、今日の試合のことやミーティングでみんなと話したことを聴いてほしかつたのに……。暁は俯いたまま部屋から出ると、父とも白木とも目を合わせずに風呂場に向かつた。

⑦ 結局、白木が帰つたのは夜の八時を過ぎてからだつた。

父が白木を車で駅まで送つている間、暁は居間でテレビを観ていた。好きでもない芸人が、たいしておもしろくもない話をしている。

「ただいま」

玄関先で父の声がする。浮かれて聞こえるのは気のせいだらうか。

父が居間に入つても、暁は「おかえり」を言わず、テレビに夢中になつてゐるふりをする。テレビの中では声の大きな芸人が、どうでもいい話をまだ喋り続けていた。

「白木まどかさんはおれの大学時代の同級生で、同じ建

築学部だつたんだ」

さすがに無視はできないので、「へえ」といちおうは領うなず

いた後、声を上げて笑つた。芸人のギャグにウケてるふり。テレビに集中してるから話しかけるなアピール。

「大学を卒業してからは友達の結婚式で一度会つたきり
だつたんだけど、突然連絡があつてな。いやあ驚いた。
とつぜん けつこんしき
おどろ

白木さん、おれが会社を辞めてここで暮らしていくこと知
つてたんだ。やっぱりSNSつてのはすごいな。どこでど
や

う繋がるかわからないもんだ」

ゲで頭をふらふらと振つておく。父がはしゃぐ姿に苛立つのは、心が狭いからだろうか。さつさと風呂に入れれば

いいのに、父が冷蔵庫を開けてとつておきの酒を取り出

してくる。福島の米農家が造つたという米焼酎。父の

誕生日に、母が病院先からネット注文して贈った酒だ。

美味しい飲めるらしい。だからもう三年間も、冷蔵庫の
守り神のように鎮座している。

守り神のように鎮座している。
ちんざ

父がこの酒を飲むのは特別な日だけだつた。
(8)

最近では引っ越し祝いに。その前は母のお葬式が終わ

な酒だ。

「白木さんは学生の時から優秀でな、いま県の職員をしてるって言つてた」

父が東北にある県の名を口にする。まだ一度も訪れたおとず

ことがない、地図でしか知らない土地だ。

「かなり出世したみたいで、いまは人事権を握つてゐるらしい」

し
い

「ふうん」

「実はな暁。白木さんの勤務する県庁で、災害からの復

旧や防災関連の人事を強化するため土木職員を緊急 きんきゅう

ぼしゅう
募集するそなんだ。土木関連の知識を持つ大学院生や

道路や河川工事の管理、監督ができる民間企業の出身者
を採用したいらしい」

「へえ」

アルコールが入っているせいか、父はいつもよりずっと
饒舌だった。仕事のついでとはいって、同級生の女性がわ
ざわざ自分を訪ねて来た。それがよほど嬉しいのだろう。

こんなに楽しそうな父を久しぶりに見た。

「なあ晩、どうして白木さんがおれを訪ねて来たか、わ
かるか」

そんなのわかるわけないじやん、と思いつつ、「出張の
ついで」と適当に返しておく。

「おれの力を貸してほしいと言われたんだ」

「力？ 布団でも干すの？」

「実はな、白木さんがおれを、県の職員として招きたい
つて言つてきたんだ」

「県の……職員？ どういうこと」

「このところ、豪雨や台風などの自然災害が頻発してい
るだろう。その災害対応や防災の態勢を整えるために、
専門知識のある経験者を^{むか}迎えたいそうだ。彼女の話だと
一九九〇年代後半に採用を抑制した影響^{よくせい}が出ているとか
で、人手が足りてないらしいんだ」

「そうじやなくて。どうしてお父さんに声かけてきたの？
お父さんつて普通^{ふつう}の住宅を建ててたんじやなかつたつけ」

「建設会社に就職したからな。でも専門は土木系の建設

都市工学だつたんだ。同級生には白木さんのように県庁
や市役所に就職した人や、国土交通省、環境省^{かんきょうしょう}で活躍
しているやつもいる」

募集する際の年齢制限^{ねんれい}は四十歳までだが、達夫くんなら私の推薦だから大丈夫^{だいじょうぶ}。正職員として迎え入れること
ができる。そう説得されたのだと、父が話す。

「まさか、心動いてるとか？」

「嫌な予感^{いや}がした。」

125

120

115

140

135

130

「いい話だとは、思った」

「いい話?」

「もともと興味のある分野だし、しかも県の正職員として働くんだ。四十五歳で公務員になるなんて思つても

みなかつた。ちよつと、夢のような話だな」

それから父は、白木まどかという人がいかに優秀だつたかを語り出した。

『中略』

「入職は来年の春でどうかと言われてる」

「は? なにが春つて?」

「だから、仕事を始めるのが来年の四月つてことだ。い

ま七月だから、あと八か月あれば家を探したり引っ越しへする時間は、十分とれるだろう」「どうしたこと……また……転校するの? 今度は違う

県に……」

「おまえには迷惑ばかりかけて、ほんとにすまないと思つて。でもお父さん、今度はきちんと」

「あたしは……嫌だよ。引つ越すなら自分ひとりで行つて。あたしは行かない」

立ち上がり、そのまま廊下ろうかに出て玄関に向かつた。前につんのめるようにして靴はを履き、外に飛び出す。

「暁つ」

背後で父の声が聞こえたが、振り返るわけがない。

街灯のない真つ暗な農道を、暁は走つた。空に浮かぶ

白い月が明るくて、畠や道端みちばたの草花を照らしている。^⑩どうして大人は、子供の気持ちを考えないのだろう。自分

たちの都合がいちばんで、子供をそれに従わせる。罪悪感など微塵みじんもない。自分たちの幸せが子供の幸せにつながるなどと、身勝手な思い込みをしているのだ。「親が笑つていることが子供の幸せ」。いつか誰だれかがそんなことを

言っていた。そうとは限らない。親が笑っていても子供

は泣いている。薰だつて欣子だつて、親の身勝手に苦し

んでいる。知らないうちに涙なみだが出ていて、泣きながら欣

子の家に向かつて走つた。吸い込んだ空気が喉のどに刺さり、

立ち止まつて思いきり咳き込んだ。吐きそうになりながら必死になつて呼吸を整える。目尻したたから涙が、口端から涎よだれ

が道路の上に滴り落ちる。最低だ。恰好悪い。

欣子の家に着くと何度も繰り返し呼び鈴りんを押したが、

中から人が出でることはなかつた。

「……留守なのかな」

窓明かりも見えないので、実家に帰つたのかもしれな

い。

「どうしよう……リモ、いるかな」

羽虫が飛び交う夜道を、曉は月と電灯の光だけを頼り

に歩いていった。

（藤岡陽子『跳べ、暁！』 ポプラ社）

※三和土……土やコンクリートで仕上げた土間のこと。

ここでは、玄関の土足で入るところ、の意。

180

185

190

問一 線①は、「橋の出入り口」という意味の表現

です。（ ）にはどのような言葉が入りますか。

次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア、たもと

イ、そで

ウ、えり

エ、ふところ

異なるものを一つ選び、記号で答えなさい。

問二 線A～Dの熟語のうち、読みの組み合わせが

問三 —— 線②と同じような意味の四字熟語を次から

一つ選び、記号で答えなさい。

ア、行雲流水

イ、雲散霧消

ウ、和氣藹々

エ、晴耕雨読

問四 X に入る言葉を次から一つ選び、記号で答

えなさい。

ア、そんなことやつたつてうまくならない
イ、まずはストレッチをしてからにしよう

ウ、今日は店の手伝いがあるから

エ、私はまだ納得していない

問五 —— 線③とあります、この部分を読んで分かる

ことを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア、家の背後にある山が動いているということ。

イ、暁が速いスピードで走っているということ。

ウ、人も車もあたりには見えていないということ。

エ、ふくらはぎが悲鳴を上げ、呼吸が乱れていること。

問六 —— 線④とありますが、なぜ暁はこのように感じ

たのですか。次の（1）、（2）にそれぞれ

適当な言葉をおぎない、理由を完成させなさい。

いつもなら（ 1 ）のに、

（ 2 ）から。

問七 線⑤とありますか、暁はどうしてこのように

思つたと考えられますか。次から明らかに異なるものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア、お父さんの前にいるのはお母さんしかいないと思つていたから。

イ、心の底ではお母さんに会いたいという気持ちがあつたから。

ウ、バスケットの試合の後、家に帰るまでどんどん拍子だつたから。

エ、お母さんが好きだつたマスカットの色をした服を着た人が現れたから。

問八 線⑥とありますか、この時の暁の気持ちとし

てあてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア、久しぶりに感じた大人の女性の存在に一瞬驚いたが、母がこの世にもういないことをすぐ思い出し、落ち込んでいる。

イ、自分の好きなタイプの化粧品の匂いだつたが、母だつたら自分の汗のにおいなど気にせず近づいていたのにと切なくなつてている。

ウ、自分の嫌いなタイプの化粧品の匂いだつたため、自分の好きな匂いの化粧品をつけていた母の顔を思い出し、懐かしく思つている。

エ、久しぶりに感じた大人の女性の存在に戸惑つたが、母が生きていれば白木にも戸惑わず愛想よくできたと後悔している。

問九 線⑦とあります。このときの暁の心情として最もあてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア、白木が訪れてきたことにあきらかに浮かれている
父に対していらだちを覚えている。

イ、初対面なのに「ちゃん」付けで呼んでくる白木の
なれなれしさをうつとうしく思つている。

ウ、汗をかいて今すぐにでもシャワーを浴びたいのに
呼び止めてくる父に怒りを感じている。

エ、今日一日の出来事をすぐに父親に話したかったの
にそれができなくてがっかりしている。

ア、同級生の女性がわざわざ自分を訪ねてきたという
意味。

イ、学生時代からの夢であつた公務員にやつとなれる
という意味。

ウ、優秀な白木が自分のことを高く評価してくれたと
いう意味。

エ、亡くなつた妻に久しぶりにいい報告ができるとい
う意味。

オ、仕事から離れていた父が働くことを家族で祝う
という意味。

問十 線⑧とあります。今回は父にとつてどのよ

うな意味で「特別な日」だつたのでしょうか。次から二つ選び、記号で答えなさい。

問十一 線⑨とあります。が、暁がここまで強く反発するのはなぜですか。帰宅前の暁の様子をふまえ

たうえで説明しなさい。

直美さん

確かに暁さんからしたら、ようやくいろいろ順調になつてきているのにいきなり

あんなこと言われたら、ねえ。

清子さん

この場合どうしたら暁さんはここまで悲しまずにするんだろうね。

直美さん

やつぱり暁さんが帰つてきたときにお父さんが暁さんのIIべきだつたんだよ。

清子さん

そうだよね。そうしておけばお父さんも暁さんの気持ちを考えた発言をしていたはずだよね。

直美さん

そうそう、お父さんもどこかで「親が笑つていることが子供の幸せ」と思い込んでいるところがあつたのかもね。

清子さん

だから自分の話ばかりしていたんだろうね。

問十二 線⑩について、次の清子さんと直美さんの会話を読み、I・IIを埋めなさい。ただし、I・IIは本文中から五字でぬき出して答え、IIは自分の言葉で答えなさい。

言つているね。

清子さん 晁さんは親が「自分たちの幸せが子供の

幸せ」と考えることを

Iと

言つているね。

清子さん 晁さんは親が「自分たちの幸せが子供の

幸せ」と考えることを

Iと

言つているね。

直美さん そうだね。わたしも今度から何か発言するときはまず相手の□IIことに

するよ。

清子さん わたしもそうする。

以下、
余白で
す。